

みぶ町政だより

7

 月号

昭和49年 7月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年 9月30日第三種郵便物認可一部 91円

獨協医科大学病院開院式 獨協医科大学附属高等看護学院開校式



独協医大病院が開院式

厚生大臣ら多数が出席

独協医科大学病院の開院式と今春四月開校した同医大付属高等看護学院の開校式は、7月14日午前11時半から同大学体育館で、斎藤厚生大臣、武見日本医師会長、西ドイツ大使代理はじめ来賓、大学側から関理事長、石橋名誉学長、磯田学長、佐藤病院長ら関係者約7百人が出席して開かれました。

引き続き祝賀パーティーに移り林敬三自治医大理事長のお祝いの言葉に次いで、佐藤町長が乾杯の音頭をとって盛大な開院祝賀会でした。

今月の人口

	7月1日現在	対前月比
総人口	29,657	81人増
男	14,805	43人増
女	14,852	38人増
世帯数	7,135	29世帯増

8月は災害防止の月です（災害は忘れたころにやってくる）

全国的に好調な投票率

.....

お知らせ

スイカの皮は
二免です

各家庭から出るゴミは、最近非常に水分が多いので、燃やさないで焼却場では困っています。これから暑くなるのでスイカなど水分の多い果物がゴミとして出されますが、考えてもわかるように水分があるため燃えません。できれば、このようなゴミは庭すみに穴をほって埋めるか、またゴミに出す場合は、水分を十分に取ってからゴミとして出すようにしてください。

納涼踊りの夕べ

壬生町の納涼踊りは、恒例により次のように行います。

◆日時 八月十四日、十五日
午後七時～十時まで
雨天の場合は、十六日まで延期（開催日は花火を打ち上げます。）

◆会場 壬生学校々庭
◆駐車場 壬生中、精忠神社にあります。

団体での参加をお待ちしております。

三ヵ月児検診

○とき 八月二十日（火）
午後二時から
四月二十日から五月十日まで（生まれたお子さん）
（母子健康手帳を持参す。）

母子健康相談

○とき 八月十日（金）
「二十日（金）」
時間：いずれも十時から二時まで
場所：稲葉地区、南八幡地区、団地の満歳未満の赤ちゃんです。
○ところ 中央公民館

一般健康相談

成人、老人、その他の健康相談についてお気軽にお出かけください。

当番医師のお知らせ

八月の日程は、次の医師以外は全部休診になります。

日	町名	医名	電	話
四日	安塚	佐藤	(6)	0123
十一日	城東町	前原	(2)	0141
十八日	舟町	早川	(2)	0211
二十五日	小倉(光)	医院	(2)	0057

時間は午前九時から午後四時

○とき 八月二十三日（金）
十時から一時まで
○ところ 中央公民館

8月の納税
お忘れなく

町民税 第2期分
国保税 第2期分

免許更新講習

八月の日程は次のとおりです
○九日（金）、二十九日（木）
いずれも午前十時から
○場所 九月二日役場会議室
○九月二日 中央公民館

廃犬引き取り日

いらない犬は、はなさないで廃犬引き取り日に出してください。
○日程 八月十四日（水）
「二十八日（水）」
○場所 および時間
役場本庁 九時まで
南八幡支所 九時十五分まで
稲葉支所 九時二十分まで



壬生町の鎮守

雄琴神社

清原氏は、宇都宮代の商賈といわれた清原氏の一族でもある。族学問の家系として知られていた。平安の有名な女流歌人清原納言もこの家系から出自している。後三年の役は、寛治五年であつたから（今から八九二年前）に当雄琴神社も八百年も以前から此の地に鎮座されて地域住民を守護されたのである。寛治六年義家は、奥州平定の帰路、雄琴神社に参詣して社領を寄進された。また、寛喜元年社名を藤森神社と称したとある。因に藤森神社は、京都府伏見にも存在し、祭神は雄琴神社に同じく一品舎人新王である。寛正二年（五十七年前）壬生彦五郎胤業（小腰氏）は、京都より此の地に来て藤森神社に参拝し、（宮司）黒川義正と協力して始めて城を築いた。そして、小腰氏を改めて壬生氏

を称した事は、町民の皆様が御存知の通りである。文明元年江州、滋賀県、雄琴村に鎮座する小腰氏（壬生氏）の祖小腰今雄公を祀った雄琴神社の分霊を勧請して合祀し社名を雄琴神社と改称した。小腰氏の家柄は、代々朝廷に仕えて官務を稱し太政官の書記に當る仕事をす役柄の家系であつた。つまり太官の職務や有職古実に明るい学問の家系である。（寛治の昔、黒川氏が宮司となつて藤森神社の祭祀を司つたが）黒川氏も清原氏の後裔であると云うことである。黒川氏は、壬生郷黒川駅の豪族で地名黒川を襲ったものであろう。天正十八年小田原戦争で壬生氏が滅亡、結城・河守が領主となると、大地主神を附祭して深く敬神した。昭和二十七年、壬生町出身の靖国の分靈を祀った。以上が雄琴神社の由来と沿革である。（筆者 大垣）

お知らせが出来ますから早く配布しましょう。